

令和7年度第1回丸亀市地域公共交通活性化協議会 会議録	
日 時	令和7年6月23日（月）13時30分～15時30分
出席者	<p>（委員）</p> <p>宮崎耕輔、池内丈史、上野博史、山下周市（代）宮本重利、上野智弘、岡内直矢、馬場久美子、平井明、宮脇隆、岩崎晶典、眞鍋雅彦、田村梨奈、増田美樹、大西裕子、宮川智行、片庭浩輔（代）山本和志、丸山憲一、合田十三夫、岡洋樹（代）前田峻太郎、伊藤秀俊、松江康司</p> <p>（事務局）</p> <p>塊場（都市計画課長）、志村（都市計画課副課長）、大関（都市計画課計画担当長）、眞鍋（都市計画課）</p>
欠席者	森田美千代、徳井正文、藤田秀光、秋山ともえ
傍聴者	1名
議 題	<p>第1号 丸亀市地域公共交通計画 令和6年度評価について</p> <p>第2号 丸亀市地域公共交通活性化協議会 令和6年度決算について 令和6年度会計監査報告</p> <p>第3号 丸亀市地域公共交通活性化協議会 令和7年度予算について</p> <p>第4号 令和7年度丸亀市地域公共交通計画改定事業について</p> <p>第5号 地域公共交通確保維持改善事業 令和8年度地域内フィーダー系統確保維持計画について</p> <p>第6号 地域公共交通確保維持改善事業 令和7年度UDタクシー車両導入にかかる生活交通改善事業計画について</p> <p>その他</p>
発 言 要 旨	
事務局（塊場）	《開会》
都市整備部長	《あいさつ》
事務局（塊場）	<p>《会長・副会長選任、監査委員依頼》</p> <p>会長 宮崎委員、副会長 伊藤委員、監査委員 岡委員、松江委員</p> <p>本日の委員の出席は21名で、委員25名の半数以上の出席となっていますので丸亀市地域公共交通活性化協議会規約第6条第2項の規定により本会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>また、本会議は原則公開し傍聴することも可能となっています。会議終了後には会議録を作成し市のホームページにて公表いたします。</p> <p>それでは議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては宮崎会長にお願いいたします。</p>

会長	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>議案第1号「丸亀市地域公共交通計画 令和6年度評価について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局（大関）	<p>《説明》</p>
会長	<p>ただいまの説明について何かご質問はございませんか。</p>
宮脇委員	<p>1点だけ確認となりますが、議案第1号の中でサイクルアンドライドについて、コミュニティセンターの具体的な場所の想定があれば教えていただきたいです。</p>
事務局（大関）	<p>コミュニティセンターにバス停が併設されている箇所が対象となります。まだ調整はできておりませんが、可能性がある箇所としては4か所を想定しております。追ってコミュニティ会長やセンター長にご相談に伺いたいと思います。</p>
会長	<p>財政支出状況は悪化したという話でしたが、収支率は前年より改善しております。このあたりはどのように数字をみればよろしいでしょうか。</p>
事務局（大関）	<p>運行経費が増えている状況のため、一部、事業者で負担していただいているお金もございました。事業者の赤字部分を減らす形で予算措置をしたものもございません。収支率については75歳以上の無料化で利用者が増えており、令和6年度の実績では29.6万人と過去最大となっております。運賃としては無料化しておりますが、琴参バスへ市から補填しており、それが運賃収入として計上されています。そのため、財政支出が増え、収支率が改善しているように見えている状況となっております。</p>
会長	<p>この数字をどう見るかは色々議論があると思います。</p>
宮脇委員	<p>昨年10月には四国水族館と丸亀駅、丸亀城、中津万象園を回るバス（丸亀周遊ニッカリバス）が運行しており、500円の1日フリー乗車券で利用できたと思います。宇多津までコミュニティバスが運行しておりますが、中津万象園にバスが着くのかという問い合わせがございました。それなりの需要もあると思いますし、中津万象園へ行くような要望も聞いたことがあるので、検討いただければと思います。</p>
事務局（大関）	<p>中津万象園についてはコミュニティバスの路線が現状ありませんが、観光地でもあり、公共交通でのアクセスについての問合せも受けております。今あるコミュニティバスの路線を振り替えると、今の利用者に影響が出る恐れがあります。影響が出ないような方法の検討や、琴参バスの路線バスの活用についてはともに費用負担</p>

	<p>をする善通寺市等と協議をしているところです。できるかどうかのお答えは現時点ではできませんが、協議を進めているのが現状となります。</p>
会長	<p>他にご意見もないようですので、議案第1号についてご承認いただけたということで次に移ります。議案第2号「丸亀市地域公共交通活性化協議会 令和6年度決算報告、会計監査報告について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局（真鍋）	<p>《説明》</p>
松江委員	<p>《監査報告》</p>
会長	<p>特にご意見もないようですので、議案第2号についてご承認いただけたということで次に移ります。</p> <p>議案第3号「丸亀市地域公共交通活性化協議会 令和7年度予算について」、説明をお願いします。</p>
事務局（真鍋）	<p>《説明》</p>
会長	<p>基本的には地域内フィーダー系統の補助が中心となると思います。今年度は交通計画の改定がございまして、その分事業費が大きくなっています。</p> <p>特にご意見もないようですので、議案第3号についてご承認いただけたということで次に移ります。</p> <p>議案第4号「令和7年度丸亀市地域公共交通計画改定事業について」、説明をお願いします。</p>
事務局（大関）	<p>《説明》</p>
宮脇委員	<p>第2次丸亀市総合計画がR7年度で終了すると思いますが、改訂される公共交通計画は何年度から始まりますでしょうか。総合計画の計画策定と時期を同じくして進めていくイメージでしょうか。</p>
事務局（大関）	<p>R8～R12となる予定でございます。総合計画の中にも公共交通に関する項目が入ってまいります。そこは政策課と連携を取って整合させていくイメージです。</p>
事務局(VL遠藤)	<p>《委員の皆様への投げかけについて説明》</p>
事務局（大関）	<p>議案第4号の資料の委員の皆様への投げかけについては、追って記載様式をお送りさせていただくので、委員の皆様からのご意見を返信いただきたいと思います。</p>

<p>宮脇委員</p>	<p>四国水族館で地域限定パスポートが発行されており、丸亀、坂出、宇多津の住民であれば11,000円が5,500円になります。今まで車で行っていましたが、城西小学校前からバスに乗って宇多津駅北口で降りるコースに乗って、四国水族館まで利用しました。若い人も年配の人も乗っていて、利用する人が結構いらっしゃいました。宇多津のホテルで同窓会があった時にもコミュニティバスを利用でき、宇多津駅起点だと利用しやすいと思います。一方で、こまめに止まるので時間的に余裕がある人には良いと思いますが、時間がかかるのが気になっているというのが利用者の方の声としてもございました。はじめは丸亀市内限定とも思っておりましたが、宇多津の方に伸びていくのは良い面があると思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>コミュニティバスの場合、速達性よりバス停間隔を短くして様々な方にバス停にアクセスできるようにするという考え方が多く、都市間バスやリムジンバスはバス停間を長くして速達性を重要視するといった考えが多いです。そのあたりの差があることはご理解いただくと良いと思います。また、自動車の運転ができなくなったら公共交通にという考え方もありますが、健康でなければ公共交通は利用できないため、その認識は誤りだと思います。このご理解も深まっていけばいいと思います。宇多津の事例については、ターゲットを絞って取り組んでいる成果だと思います。丸亀市の場合では、平野部がかなり広く、移動需要が広範囲に分散する傾向にあるため、乗合型路線バス型での対応が難しい地形条件でもあると思います。</p> <p>次に、議案第5号「地域公共交通確保維持改善事業 令和8年度地域内フィーダー系統確保維持計画について」、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局（真鍋）</p>	<p>《説明》</p>
<p>会長</p>	<p>資料は国から補助金をもらうために申請するものです。この後の提出の段階では、修正等も含めて事務局に一任させていただければと思います。</p> <p>ご意見もないようですので、議案第5号についてご承認いただけたということで次に移ります。</p> <p>議案第6号「地域公共交通確保維持改善事業 令和7年度UDタクシー車両導入にかかる生活交通改善事業計画について」、説明をお願いします。</p>
<p>事務局（真鍋）</p>	<p>《説明》</p>
<p>会長</p>	<p>こちらの資料はユニバーサルデザインタクシー導入にあたって、国から補助金をもらうために申請するためのものです。特にご意見もないようですので、議案第6号についてご承認いただけたということで次に移ります。</p> <p>続いてその他「AI デマンド交通社会実験について」、説明をお願いします。</p>

事務局（大関）	<p>《説明》</p>
宮脇委員	<p>城西校区内の議論では、タクシーが利用しやすいという意見が多いです。スーパー等に高齢者のご夫婦で行く場合には自分で車を運転される場面が見られ、地方部では免許返納は80歳が1つの区切りになっています。都市部は65歳ぐらいから免許返納をするというイメージだと思いますが、地方部ではそうはいきません。民生委員の話も聞きますが、高齢になって家族が同居していない場合には、85歳～90歳までは比較的元気な人はタクシーで行くという状況もございます。</p> <p>郡家校区でこういった取組を見ておりますと、AI デマンド交通にまだ慣れていないという声もあるようです。城西校区では、安全性という面でもタクシーの方が良いだろうとも思います。綾歌地域の今後のデマンド実証では、タクシーとの連携も1つの方策と思って注視していきたいと思いますが、綾歌地域での実証は令和7年度から実施する予定でしょうか。</p>
事務局（大関）	<p>まだ実証自体は開始しておらず、サービス内容を事務局内で検討して、タクシー組合とも相談して、9月頃からスタートするようなイメージで準備をしているところでございます。</p>
宮脇委員	<p>実証では、地元のタクシー会社を利用する予定でしょうか。</p>
事務局（大関）	<p>南部にタクシー事業者がおられませんので、中心部のタクシー事業者になると思います。どこまでご協力いただけるかは今後の相談になると思います。</p>
馬場委員	<p>タクシーはドアツードアで高齢者に欠かせない乗り物であると思います。AI デマンド実証で経費が大きかったという事ですが、郡家校区での実証車両はハイブリッド車のため、LP ガス車より燃料費が掛かったと思われます。JPN タクシーを使えば燃料費の削減ができると思います。ただ、郡家校区よりも中心部からの距離が遠くなる点は運行経費への影響があるかもしれません。今後は車両を考慮していただくことも念頭に置いていただければと思います。</p>
大西委員	<p>公共交通も行政も同じだと思いますが、将来的には人口動態が関係してくると思います。10年後、20年後の丸亀市内の地区ごとの人口動態によって交通手段が変わってくるように思います。例えば10年後でしたらどういう人口動態になっているか、利用割合も変わってくるでしょうし、そういうのも交通だけでなく市の行政との兼ね合いがあるかとは思いますが。都市計画も5年単位で変わり、市長によっても方針が変わってまいります。長期的に将来のことを考えてもらいたいと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>私も似たような感覚を持っておりまして、例えば、AI デマンド交通社会実験についても、短期間の実証実験で終わってしまったら、安心して免許返納をしようと思う気持ちになれないと思います。昨今ですと宇都宮で LRT が整備されましたが、運行開始までは 30 年程度掛かっております。30 年もの間、首長、議会の議員が変わるなど紆余曲折があった中でも継続して LRT の整備については取り組んだことで整備ができていますと聞きます。目先の短期的な対応に目が行きがちですが、長期的な丸亀市の将来像にも目を向けた市民のみなさんの取り組みが大事なのだらうと思います。</p>
<p>事務局（大関）</p>	<p>先日の新聞報道がございましたように、丸亀市としても自動運転に取り組んでいく予定でございます。運転士不足が問題となってきている中で、早めに対処していきたいと考えております。具体的な進捗はこれからですが、そういったところも今後の情報発信として報告させていただきたいと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>AI オンデマンドの件で、データを見誤っている可能性があると思います。高齢者の利用が多く、アプリ配車で経費も上がる面もあるとは思いますが、若い世代では、電話への抵抗感もあってアプリ配車が優位な場合もあります。夜間の利用で塾の送迎の利用も見られるという事で、そのようなニーズも補完できていたのだらうと思います。単純に高齢者だけでなく 30 代～40 代の利用もみられるので、自動車を運転している人もデマンドを利用できるハイブリッドな生活ができれば良いと思います。運行経費も高いですが、それを受け入れるかどうかという判断もあると思います。</p>
<p>宮脇委員</p>	<p>高齢者の免許返納者は市内でそれくらいの年齢が多いのでしょうか。</p>
<p>丸山委員</p>	<p>高齢者の免許返納については 65 歳以上で線引きさせてもらっておりますが、免許返納される方は 80 歳以上がほとんどになります。丸亀市でいうと平均で日に 2 名ぐらい返納されています。</p>
<p>池内委員</p>	<p>昨年 10 月から丸亀市内のコミュニティバスの減便をしており、公共交通の利用者数が減少しています。10 月からの半年間だと 6% ぐらい昨年度から減少傾向にございます。市の方で無料デー等をしていただいておりますが、減便の影響は大きくなっています。綾歌宇多津線、丸亀東線が半年で大幅に減ってきている状況でございます。乗務員にもヒアリングしていますが、丸亀東線を減便したことでレオマ宇多津線へ乗り換えたり、通学利用が別路線に転換しており、利用者が使いにくいという意見が出てきております。減便を元に戻すのは難しいと思いますが、運転手の体験会など乗務員の採用活動に力を入れており、減便時と比べて運転士が 2 名ほど</p>

	<p>増える予定です。今回の議題でもございましたデマンドタクシーの導入なども含めて、乗務員が確保できれば便数も増やしていきたいと思えます。幹・枝・葉の交通として、コミュニティバスもデマンド交通と連携して利用できる施策が必要と思えます。乗務員不足で路線を増やしても奥まで行けないという状況もございませう。バスは枝、JRが幹になると思えますが、葉っぱをどうつないでいくか、交通計画を策定する上で考えていかないといけないと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>様々な交通手段が出てきておりますので、丸亀市内でもいろいろと検討していければと思えます。</p> <p>その他、全体を通してなにかありますでしょうか。</p> <p>特にないようですので、進行を事務局へ戻します。</p>
<p>事務局（塊場）</p>	<p>《閉会》</p>